

万博「絆」Kizuna 通信

Vol. 10

2024年6月26日 発行



自見博覧会担当大臣と
オーストラリア・カナダ・
コロンビア・イタリアの政府代表

岸田総理、十倉経団連・博覧会協会会長と
面談するケルケンティスBIE事務局長

齋藤経産大臣と面談する
ケルケンティスBIE事務局長

自見博覧会担当大臣と
ケルケンティスBIE事務局長、
山下奈良県知事

6/24に開設した
ワンストップ・
ショップ
於 博覧会協会

今週の週報の内容

1. 海外パビリオンの状況

- ・ 6/17 オランダパビリオン活動発表
- ・ 6/21 ルーマニア起工式

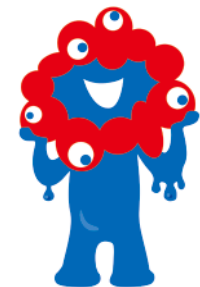
2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- ・ 6/24 ケルケンティスBIE事務局長、
総理表敬、齋藤経済産業大臣と会談
- ・ 6/24 ワンストップ・ショップ本格稼働
- ・ 6/19 博覧会協会とキャッシュレス推進協議会が
キャッシュレス推進の連携協定締結
- ・ 6/20 ナショナルデー・スペシャルデー追加発表
- ・ 6/20 ミャクミャク、吉本新喜劇にゲスト出演
- ・ 6/19 ウェブマガジン「月間日本館」第3号発行
- ・ 6/22 ジュンク堂書店難波店内に12店舗目となる
オフィシャルストアオープン
- ・ 6/24 博覧会協会、メタンガス等の安全対策発表

3. 販売・募集の状況

- ・ チケット販売: 280万0,949枚 (6/12 現在)

IPM@奈良、大盛況!



今週の大阪・関西万博 **週報** (6/18~6/24)
 ~ 開催まで あと **292** 日です! ~



1. 海外パビリオンの状況

□ 6/17(月)、オランダが同国パビリオンで行う活動内容を発表。5つの分野 (①ライフサイエンス・ヘルス、②エネルギー・持続可能性・循環型経済、③持続可能な食品生産・園芸、④ハイテク・デジタル化、⑤文化) を柱に。



写真左：発表会の様子

<https://www.rvo.nl/onderwerpen/landen-en-gebieden/japan/expo-2025-osaka/programming-5-sectoren-tracks>

写真右：パビリオンイメージ

<https://www.expo2025.or.jp/official-participant/netherlands/>



□ 6/21(金)、ルーマニアが起工式を実施。持続可能性を強調し、リサイクル可能な手法で建設するパビリオンでは、音楽と舞踊でルーマニアの文化的多様性を強調するイベントを実施。開催期間中の同国ナショナルデー(来年6月26日を予定)には、経済フォーラムや大規模な文化芸術イベントを開催。



写真：起工式の様子 ルーマニア万博チーム提供



□ 6/18（火）、外務省ホームページにおいて公式参加国の情報を更新。アルゼンチンとニウエが国内事情により不参加となり、新たにシエラレオネとバルバドスの2か国の参加表明したことを新たに公表。参加国総数は 161 개국 で変わらず。

【現在の参加国等の状況】（6月19日現在）

- ・公式参加契約締結国数：102 개국
- ・敷地を引き渡した国： 43 개국

- ・施工事業者が決まった国：40 개국
- ・着工済みの国： 32 개국

2. 今週・先週の主な活動／今週以降の予定

□ 6/24（月）、来日中のケルケンツェス博覧会国際事務局（BIE）事務局長は、岸田総理を表敬し、約15分間会談。

岸田総理からは、世界中の人々が「意図せぬ出会い」や「未来社会のショーケース」を体験できる場となる万博の意義を伝え、関係者一丸で準備を進めていく旨を発言。

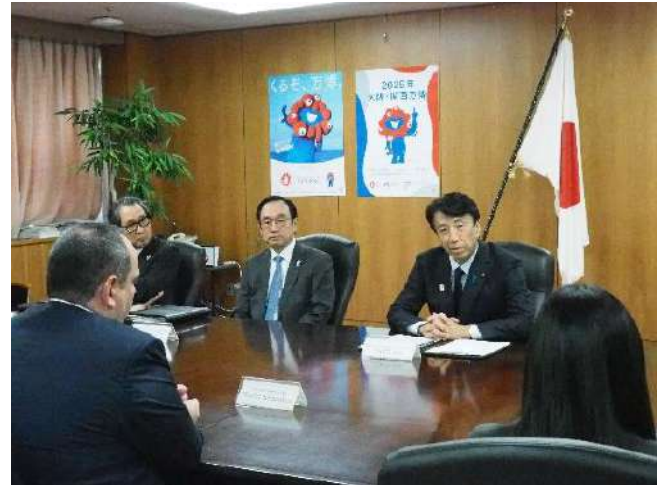
同事務局長からは、岸田総理のこれまでの万博開催に向けたリーダーシップに敬意を表しつつ、25日から奈良県で開催される国際参加者会議（IPM）が日本国内での機運醸成の機会になることを期待する旨の発言あり。



【写真】経済産業省撮影（@官邸）

右から、石毛 博覧会協会事務総長、羽田 政府代表、
十倉 博覧会協会会長、岸田 総理大臣、
ケルケンツェス B I E事務局長、アクノバ B I E
展示部長、カロシエッロB I E儀典部長

□ 6/24(月)、岸田総理表敬に先立ち、ケルケンツェス BIE 事務局長は、齋藤経済産業大臣と会談。同事務局長は、「各国が前向きな反応を示している」と述べ、日本の取組を支持。機運醸成や参加国の出展支援にあたって、BIE と日本政府が引き続き緊密に連携していくことで合意。



【写真】経済産業省撮影（@経済産業大臣室）

【経産省 HP】 <https://www.meti.go.jp/press/2024/06/20240624002/20240624002.html>



□ 6/24（月）、参加国の準備や開幕後の運営に関する様々な課題や要望に一元的に対応する窓口として「ワンストップ・ショップ (OSS)」を正式に設置し、本格稼働を開始。設置場所は、会場に近い大阪府咲洲庁舎 47 階。初日となる 24 日には約 30 の国や国際機関の約 120 名が来場。相談分野を計 26 分野に拡充。オンライン対応に加え、対面での相談に対応するとともに、関連する行政サービスや許認可等の手続等を一元的に提供。

【写真】博覧会協会撮影



※プライバシーに配慮して画像を加工しています。

- 6/19 (水)、博覧会協会とキャッシュレス推進協議会がキャッシュレス推進に関する「連携協定」を締結。①万博会場内の全面的なキャッシュレス運用の周知活動、②キャッシュレス教育の普及促進での連携を進めていくとの内容。

【博覧会協会 HP】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240619-01/>



- 6/20 (木)、博覧会協会は、開催期間中の参加国・地域の「ナショナルデー」と国際機関の「スペシャルデー」について、31ヶ国の日程を追加公表。日本のナショナルデー（「ジャパンデー」）を2025年7月3日とする旨も公表。また、期間中に実施する各種イベント86件も新たに発表。これで、公表済のイベント総数は202件に。



※ナショナルデー、スペシャルデーとは

公式参加者の参加を称える日で、公式参加者の文化に対する理解を深め、国際親善の増進に寄与することを目的にナショナルデー（国・地域）、スペシャルデー（国際機関）が開催。当日は、公式参加者が国内外の賓客や一般の来場者を招いて行う式典と文化イベントが行われる。

【博覧会協会 HP】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240620-01/>

- 6/20 (木)、公式キャラクターミヤクミヤクは、吉本新喜劇にゲスト出演。出演者と会話し、新喜劇お馴染みのギャグも披露。（ミヤクミヤクが人と会話するのはこれが初。）



【博覧会協会 HP】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240620-05/>

【博覧会協会 Youtube】 <https://www.youtube.com/watch?v=MDqjWONimKE>

- 6/19（水）、ウェブ・マガジン「月刊日本館」の第3号を発行。今回のトピックは「微生物のチカラ・発酵」。日本政府館のテーマ（「いのちと、いのちの、あいだに」）と関連する話題を取り上げ、建築・展示準備の進捗状況も随時更新。



出典：「月刊日本館」<https://2025-japan-pavilion.go.jp/>

- 6/22（土）、ジュンク堂書店難波店内に「大阪・関西万博オフィシャルストア」を新たにオープン。これで、日本全国に展開しているオフィシャルストアの実店舗は12店舗に。



【博覧会協会 HP】<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240614-04/>

- 6/24（月）、博覧会協会は、3月28日発生^の火災（爆発事故）及びパビリオンワールド工区での低濃度メタンガス検出を踏まえ、メタンガス等に関する会期中の安全対策をとりまとめ、協会HPにて公表。詳細は「別紙」の通り。

【博覧会協会 HP】：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240624-02/>



3. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 280万0,949枚（2024年6月19日現在）

4. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) メタンガスに関する会期中の安全対策について

指摘事項

- 事故が起こった区画(=「グリーンワールド工区」)においては換気設備等を設置する追加対策を講じるとのことだが、事故が起こった区画以外の場所(=「パビリオン・ワールド工区」)では、こうした「ハード対策」は不要なのか。

【事実関係】

- グリーンワールド(GW)工区と異なり、パビリオンワールド(PW)工区は、メタンガスが検知された頻度が少なく、対策が必要なレベルには達していない極めて低濃度のもの。そのため、濃度の継続的測定と適切な換気対策を行うことで安全性は確保されると思料。
- パビリオンワールド工区においても、今後も濃度測定を継続して実施するとともに、ガスが検知された地下構造物のマンホール等においては、蓋の開放などによる換気を実施していく予定。
- 今後も濃度測定結果に基づき、有識者の意見も伺いながら、必要に応じて追加の対策を講じていく予定。

指摘事項

- 今回の安全対策を行うことで、会場整備費が増額になるのか。その財源は確保されているのか。

【事実関係】

- 追加対策の実施にともない工事費の増額が想定されるが、2,350億の会場建設費の範囲内で実施する予定。

(2) タイプXのパビリオンの費用負担

指摘事項

- 博覧会協会が建設を進めるタイプXパビリオンについて、9棟のうち3棟しか利用する国がなく、数十億の建設費用が回収困難との報道があるが、事実関係は。

【事実関係】

- タイプXは、パビリオン建設事業者の決定が遅れている参加国が存在する中、参加国の代わりに協会が建設を行うオプションとして関係国に提案していたもの。
- これまでの参加国との調整の結果、タイプXでの参加を表明した3か国分に加え、まだタイプAで調整を進めている参加国による活用に備えて追加で6棟の建設手続を進めてきた。
- 現時点で、タイプXとして活用する棟数は決定しておらず、出展形態は引き続き各国との間で調整が続いており、整備にかかる費用についても、博覧会協会調整中。
- いずれにしても、この9棟の建屋については、タイプXとして活用されないものが生じたとしても、博覧会協会が何らかの形で有効活用していくことを考えており、費用負担についても、既存の2350億円の会場建設費の範囲内で実施する。

(3) 紙チケットの検討

指摘事項

- 事前予約を必要としない紙チケットを販売するとの方針を協会が決めたとの報道があるが、事実関係如何。

【事実関係】

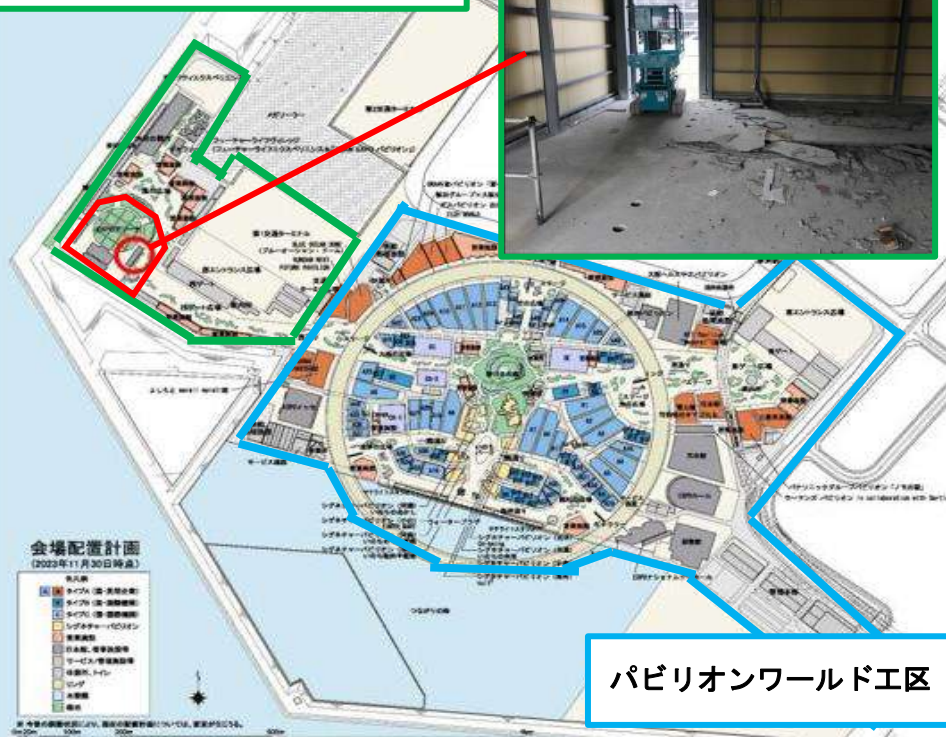
- 技術的な対応可能性も含めて、博覧会協会で具体的な方法は検討中。現時点で具体的な販売方法について特に決まった方針はない。

可燃性ガス対策について

- 3月28日、廃棄物が埋め立てられメタンガスが発生しているグリーンワールド工区において、発生した**爆発事故**。工事の際のガス濃度測定手順書の明確化等の対策強化（4/19公表）。
- 会期中の対応策について、メタンガスを高濃度にしないことが重要であり、
 - ① グリーンワールド工区の建物については、換気システムと測定装置等を設置、
 - ② 会場全体のガス濃度の計測と公表、等の対策を公表（6/24）。

＜事故発生場所＞

グリーンワールド工区



＜会期中のグリーンワールド工区のガス対策＞

